

# 農を強くし、農を守る農業農村整備事業の推進

政策提言先 農林水産省・内閣府

## 政策提言の要旨

人口減少下において、将来にわたり「持続可能な農業」を実現するためには、さらなる基盤整備の推進を図り「農を強くする」とともに、地震や近年の気候変動に伴う災害に強い農村社会を形成し「農を守る」ことが必要です。

農業農村整備事業は、こうした政策全体を支える根幹であり、基盤整備や防災・減災対策を迅速かつ着実に実施するために、令和8年度当初予算において、十分な予算を確保するよう提言します。

## 【農を強くするための政策提言の具体的内容】

### 1 地域計画を着実に推進するための基盤整備予算の確保

人口減少下において、若者や女性など将来の担い手を確保し、「地域で暮らし稼げる農業」の実現に向けて、地域のニーズに応じた基盤整備をさらに推進するための予算を十分に確保することを提言します。

## 【農を守るための政策提言の具体的内容】

### 1 農村地域の防災・減災対策を強化するための予算の確保

南海トラフ地震対策や豪雨対策として、ため池対策工の早期完了や監視機能の強化など、防災減災対策を強化するための予算を十分に確保することを提言します。

### 2 農業水利施設の機能維持及び強化するための予算の確保

農業水利施設の老朽化の進行による長寿命化の推進及び近年の気候変動対策として、排水機場の機能を強化するために必要な予算を十分に確保することを提言します。

## 【政策提言の理由】

- ・ 農業を巡る環境は、生産効率の悪い未整備の農地から耕地面積が減少するとともに、人口減少に伴い担い手不足が深刻化するなど、厳しい状況が続いています。  
こうした中、若者や女性などの新規就農者の確保に加え、既存農家の規模拡大や企業の農業参入等を促すためには、さらなる基盤整備の推進により、優良農地を生み出し、農地の集積・集約化を加速化させる必要があります。
- ・ また、ため池は農業用水を確保する貴重な水源である一方、南海トラフ地震や集中豪雨などが発生した際に決壊すれば、下流域の人家や公共施設などに被害が及ぶ恐れがあり、早期対策の完了と監視の強化が必要です。
- ・ さらに、農業水利施設の老朽化の進行に対する長寿命化対策の推進とともに、近年の気候変動による集中豪雨の増加への対策として、排水機場の機能強化など、農村地域で安心して暮らし、安定した農業生産を持続するための取組が必要です。
- ・ 農業農村整備事業は、こうした政策全体を支える根幹であり、令和6年度の補正予算に計上された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」などと令和7年度の当初予算を合わせ、必要な予算を確保していただき、大変感謝しております。  
引き続き、基盤整備や防災・減災対策を迅速かつ着実に実施していくために、令和8年度当初予算において十分かつ安定的な予算の確保が必要です。